



地図を活用し迅速な対応を 国土地理院と協定締結

三好市は、地理空間情報の活用促進のための協定を国土地理院と7月22日に締結し、黒川市長と国土交通省国土地理院四国地方測量部の甲斐部長が協定書を交わしました。国土地理院は、徳島県との協定は締結していますが、県内の市町村とは初めてとなります。三好市は国土地理院から地図や航空写真の提供を受け、災害対応やまちづくりなどに活用します。協定終了後には、地図や航空写真の利用方法についての職員研修も行われました。



かずら橋 夜間も魅力的に LED 高速通信株式会社様より寄贈

観光振興に役立ててもらいたいとLED 高速通信株式会社様から、中・大型ハイパワーLED「ジェット・ストリーム」3機が寄贈され、7月13日に寄贈式が三好市役所分庁舎で行われました。
ジェット・ストリームは、単一光源の大型LEDとして、独自の放熱技術により、従来は難しいとされていたさまざまな課題を解決し、高照度で、長寿命化と軽量化を実現されたものです。市では祖谷のかずら橋周辺のライトアップに活用し、夜間の魅力アップづくりを目指します。



日本文化を体験し絆を深める ザ・ダルズ市の親善団が井川中学校で交流

三好市と姉妹都市協定を結んでいるアメリカオレゴン州ザ・ダルズ市の親善団が3日夜、三好市を訪れました。親善団は、14～18歳の高校生13人と引率者3人の計16人。市内の10家庭にホームステイし、9日まで滞在しました。
8日に井川中学校を訪れた親善団は、自己紹介をした後、生徒たちと一緒に給食を食べながら話に花を咲かせていました。また、お琴体験や書道体験、阿波踊り体験を通して、生徒たちと絆を深めました。



プロの熱戦を間近で堪能 四国アイランドリーグ PLUS 公式戦

7月28日、池田球場で四国アイランドリーグ PLUS の公式試合が開催され、約650人の観客が熱い声援を選手たちに送りました。試合前には、ちびっこ野球体験教室が開催され、子どもたちと選手と一緒に練習を行いました。愛媛マンダリンパイレーツと対戦した徳島インディゴソックスは、4対5で敗戦となりましたが、ホームランも飛び出し、プロ選手のプレーを間近で感じる事ができました。豪華景品が当たる抽選会もあり、大人も子どももプロ野球を楽しみました。



上品な甘みの和菓子が完成 中央公民館で季節の和菓子体験

7月26日、公民館クラブの一環として、季節の和菓子体験夏編が中央公民館で行われました。元地域おこし協力隊の加藤有美さんが講師となり、あんみつと生八つ橋作りに12名が参加。白玉や生八つ橋の生地作りなど、悪戦苦闘しながらも講師から丁寧な指導を受けて、上品な甘みの和菓子が完成。参加者は、色とりどりの白玉がのったあんみつと2種類の生八つ橋を笑顔で味わいました。次回の季節の和菓子体験は、10月に開催される予定です。



悪口言わずに褒めよう 林家染太さんが自らの体験を講演

7月18日、落語家の林家染太さんを講師に迎え市民大学講座・青少年育成市民会議講演会・人権教育講演会が行われました。演題を「いじめられっ子のぼくが落語家になった理由」と題し、自らのいじめ体験を通して、命の大切さ、人の温もりを感じ、「いじめは子どもだけでは絶対に解決しない。もっと周りの大人が本気にならなくてはいけない」と参加者に訴えかけました。その後、落語も披露され、笑いあり涙ありの講演となりました。



地元子どもたちや保存会らが披露 古式ゆかしい神代踊を奉納

毎年旧暦の6月25日、西祖谷山村の天満神社で奉納される国指定重要無形民俗文化財の神代踊りが、7月27日に行われました。神社の境内では太鼓や鉦の音が鳴り響く中、面をかぶった「露払い」役を先頭にあでやかで勇壮な踊りを地元保存会の会員らとともに、櫛生小学校の児童と西祖谷中学校の生徒らが披露しました。カメラに収めようと訪れた写真愛好家や見物客は古式ゆかしい踊りを見守りました。



狙いを定めて放水開始 大泉保育園で消防体験

7月23日、池田町消防団第1分団が大泉保育園を訪れました。二宮団長から「防災を通じて命の大切さと気持ちのやさしさを学んでください」と挨拶があり、園児たちも真剣に聞き入っていました。その後、園児たちはヘルメットと法被を着せてもらい、放水体験に挑戦しました。小さな手でしっかり握ったホースから勢いよく水が出てくると園児たちは大喜び。また、消防車にも乗せてもらい気分は立派な消防士の園児たちでした。